

集合写真個別 AI トリミング名人 操作マニュアル

集合写真から顔を自動切り抜きする AI ツール

井上写真店 INOUE PHOTO

1. ソフトウェアの概要

GroupFace_Crop は、集合写真や複数人が写った写真から、AI が自動的に顔を検出し、個人ごとに切り抜いて保存するソフトウェアです。

主な特長

- 複数枚の画像をまとめて一括処理できます
- AI による高精度な顔検出（RetinaFace 使用）
- 切り抜き方法を 2 種類から選択可能：「個別切り抜き」と「顔切り抜き」
- ファイル名の命名ルールをカスタマイズ可能
- ライセンス認証による製品版機能



2. 起動と初期設定

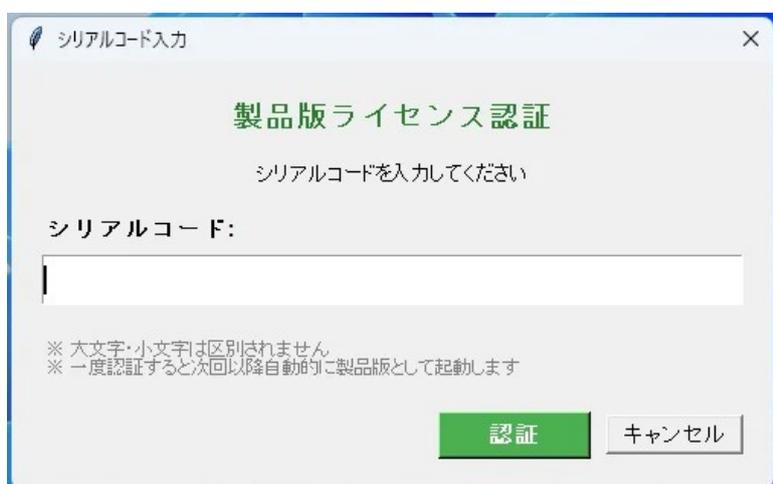
2-1. ソフトウェアの起動

「GroupFace_Crop.exe」をダブルクリックして起動します。



2-2. ライセンス認証（製品版）

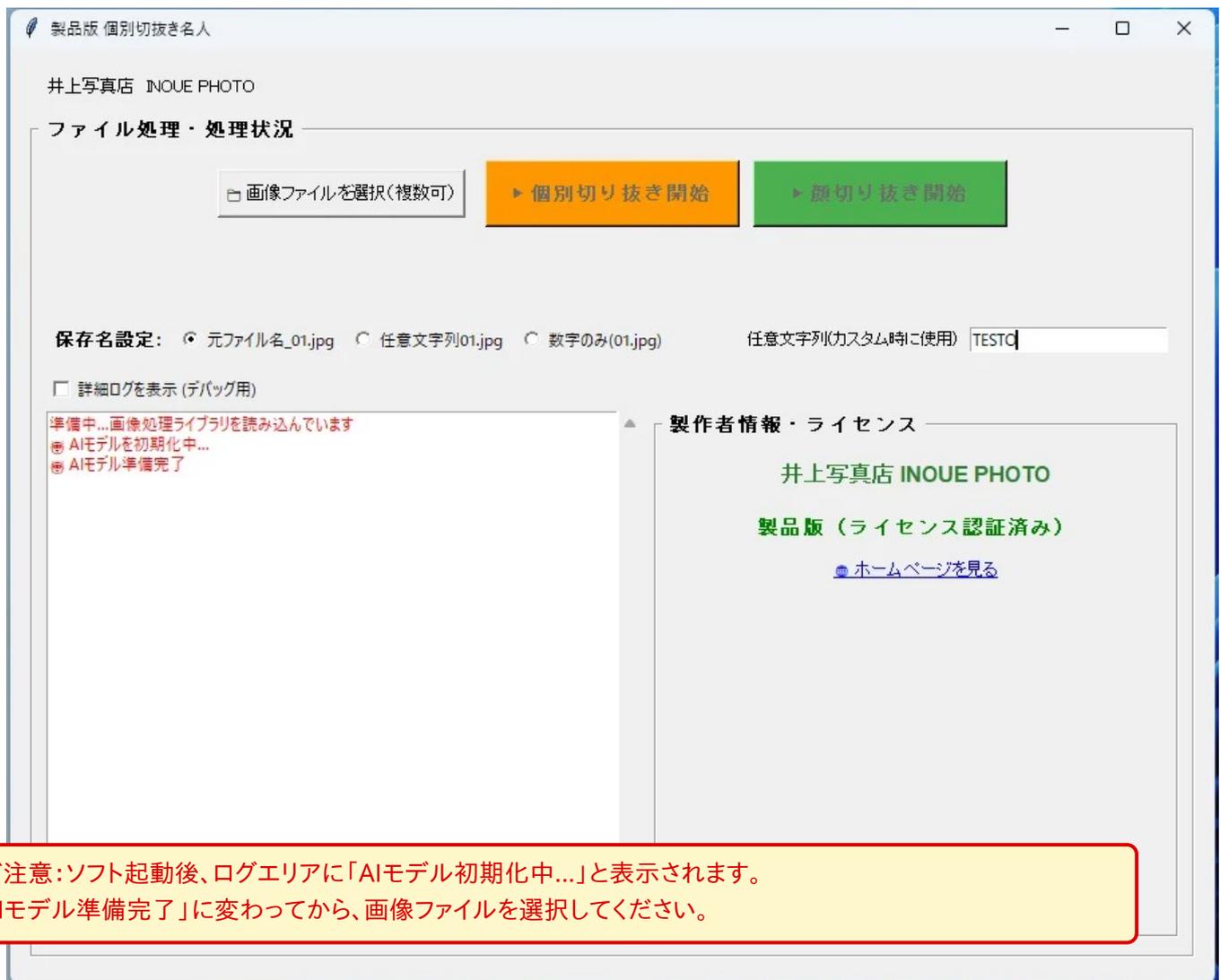
初回起動時または未認証の場合、「製品版ライセンス認証」ダイアログが表示されます。



1. 「シリアルコード:」の入力欄に、購入時に発行されたシリアルコードを入力します。
※ 大文字・小文字は区別されません。
2. 「認証」ボタンをクリックします。
3. 認証が完了すると、次回以降は自動的に製品版として起動します。

2-3. メインウィンドウの確認

起動後、メインウィンドウが表示されます。ライセンス認証済みの場合は「製品版（ライセンス認証済み）」と表示されます。



⊠ ご注意:ソフト起動後、ログエリアに「AIモデル初期化中...」と表示されます。
「AIモデル準備完了」に変わってから、画像ファイルを選択してください。

3. 基本的な使い方

3-1. 処理する画像ファイルを選択する

画像ファイルを選択(複数可)

4. メインウィンドウの「画像ファイルを選択(複数可)」ボタンをクリックします。
5. ファイル選択ダイアログが表示されます。処理したい画像ファイル(JPG、JPEG、PNG)を選択します。
 - ※ Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数ファイルを同時に選択できます。
6. 「開く」ボタンをクリックして確定します。



▼ 画像ファイル (*.jpg;*.jpeg;*.png;*) ▼

開く(O) キャンセル

3-2. 保存名の設定

切り抜いた画像ファイルの命名ルールを設定します。

保存名設定: 元ファイル名_01.jpg 任意文字列01.jpg 数字のみ(01.jpg)

以下の3種類から選択できます:

- **元ファイル名_01.jpg** (デフォルト) 元の画像ファイル名に連番を付けて保存
例: 10001.jpg → 10001_01.jpg、10001_02.jpg、…
- **任意文字列 01.jpg** 任意の文字列+連番で保存
例: TESTC → TESTC01.jpg、TESTC02.jpg、…
任意の文字列は右側の入力欄に入力します。

任意文字列(カスタム時に使用)

- **数字のみ(01.jpg)** 連番のみのファイル名で保存
例: 01.jpg、02.jpg、…

3-3. 切り抜きモードの選択と実行

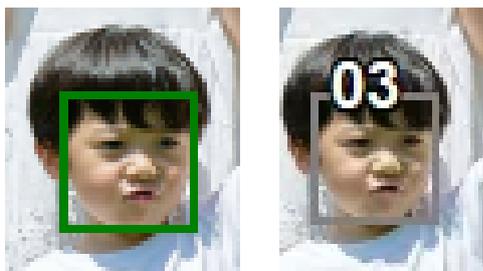
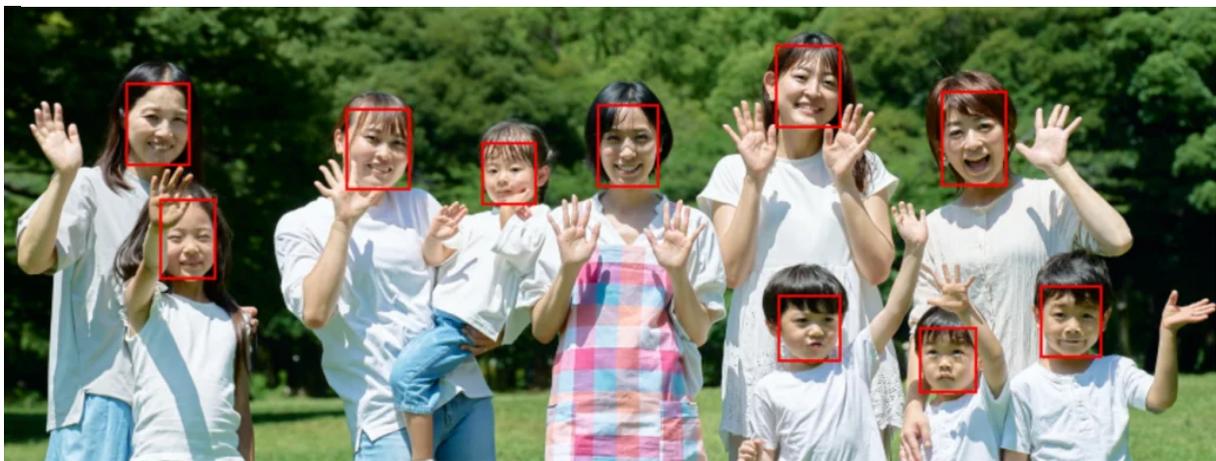
切り抜き方法は「個別切り抜き」と「顔切り抜き」の2種類があります。

【個別切り抜き開始】

▶ 個別切り抜き開始

画像内で検出された顔を1枚ずつ確認しながら、保存する顔を選択できます。

7. 「個別切り抜き開始」ボタン(オレンジ色)をクリックします。
8. 顔の選択プレビュー画面が表示されます。
9. プレビュー画面で、保存したい顔(赤枠)をクリックすると緑枠に変わります。
「選択顔を保存」ボタンを押すと、顔に番号が表示されて保存され次へ進みます。



- スキップ(名前を飛ばす)ボタン: 欠席者がいる場合など、番号を飛ばしたいときに使います。
保存せずに連番だけ進めて次の顔へ移ります。
- 戻るボタン: 保存した顔の番号を間違えた場合に使います。
直前に保存した番号を取り消して、前の番号からやり直すことができます。

【顔切り抜き開始】



各写真に写っているすべての人物を個別に切り抜き、自動で保存します。手動確認なしに一括処理されます。

10. 「顔切り抜き開始」ボタン(緑色)をクリックします。

11. 処理が開始され、ログエリアに進捗が表示されます。

処理完了後、元画像と同じフォルダ内に「Face_Crop」フォルダが作成され、切り抜いた画像が自動的に保存されます。

【出力例】

元画像: 10001.jpg → 10001_01.jpg, 10001_02.jpg, … のように連番で保存

元画像: 10002.jpg → 10002_01.jpg, 10002_02.jpg, … のように保存

4. プレビュー画面の操作（顔切り抜き時）

顔切り抜き開始時に表示されるプレビュー画面の操作方法です。

操作	説明
左クリック	顔を選択／選択解除する
右クリック+ドラッグ	画像を移動する
マウスホイール	画像を拡大・縮小する
「次へ」ボタン	次の画像に進む
「前へ」ボタン	前の画像に戻る
「選択顔を保存」ボタン	選択した顔を保存し次の画像へ進む
「スキップ（名前を飛ばす）」	この画像を保存せずに連番を進めて次へ
「戻す」ボタン	選択をリセットする
「画面に合わせる」ボタン	画像を画面サイズに合わせて表示する
「終了」ボタン	プレビュー画面を閉じてメインに戻る

5. 出力結果の確認

処理が完了すると、元画像と同じフォルダ内に「Face_Crop」フォルダが自動作成されます。

Face_Cropフォルダの中に、元のファイル名に対応した切り抜き画像が保存されます。



10001.jpg



10002.jpg

Face_Crop フォルダの中に、元のファイル名に対応した切り抜き画像が保存されます。

出力例（10001.jpg の場合）



10001_01.jpg



10001_02.jpg



10001_03.jpg



10001_04.jpg



10001_05.jpg



10001_06.jpg



10001_07.jpg



10001_08.jpg



10001_09.jpg



10001_10.jpg

10001_01.jpg、10001_02.jpg、…のように連番で保存されます。

出力例（10002.jpg の場合）



10002_01.jpg



10002_02.jpg



10002_03.jpg



10002_04.jpg



10002_05.jpg

10002_01.jpg、10002_02.jpg、…のように保存されます。

※ 切り抜かれた画像は縦長のポートレート形式で保存されます。

※ 顔の周囲に適切な余白が自動的に付加されます。

6. 対応ファイル形式と推奨環境

対応画像形式

- JPEG (.jpg / .jpeg)
- PNG (.png)

推奨動作環境

- OS: Windows 10 / Windows 11
- メモリ: 8GB 以上推奨
- 処理枚数が多い場合は SSD を推奨

フォルダ構成

処理前と処理後のフォルダ構成の例:

[元フォルダ]

```
└ 10001.jpg          ← 元画像
└ 10002.jpg          ← 元画像
└ Face_Crop/        ← 処理後に自動作成
    └ 10001_faces/  ← 元ファイル名_faces フォルダ
        | 10001_01.jpg
        | 10001_02.jpg
        | ...
    └ 10002_faces/  ← 元ファイル名_faces フォルダ
        | 10002_01.jpg
        | 10002_02.jpg
        | ...
```

7. よくある質問 (FAQ)

Q. 顔が検出されない場合はどうすればよいですか？

A. 顔が小さすぎる、横向き、または極端に暗い画像の場合は検出精度が下がることがあります。できるだけ正面向きで明るい写真をご使用ください。

Q. 複数のファイルをまとめて処理できますか？

A. はい、ファイル選択時に複数ファイルを選択することで、まとめて処理できます (Ctrl キーで複数選択)。

Q. 保存先フォルダを変更できますか？

A. 現バージョンでは、元画像と同じフォルダ内の「Face_Crop」フォルダに自動保存されます。

Q. ライセンスは何台の PC で使用できますか？

A. ライセンス条件については、購入時の規約またはホームページをご確認ください。

8. サポート・お問い合わせ

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、以下の窓口までご連絡ください。

- 制作・販売：井上写真店 INOUE PHOTO
- ホームページ：https://inouephoto.dsmynas.com/top/groupface_crop68/

※ 本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

※ 最新情報はホームページをご確認ください。